

科目名		授業形態	担当教員名	
歯科麻酔学		講義・演習	小谷 順一郎	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
歯科衛生業務を行うために必要な全身管理ならびに局所麻酔、精神鎮静法および全身麻酔を理解する事を目的とする。				
授業の到達目標				
1. バイタルサインを説明できる。 2. 歯科における局所麻酔法の種類と目的を説明できる。 3. 精神鎮静法・全身麻酔の適応症と種類を説明できる。 4. 内科的有病患者の歯科治療上の注意点を説明できる。 5. 全身的偶発症とその対応を説明できる。 6. バイタルサインの測定（血圧）の技能を習得する。 7. 一次救命処置（BLS）の知識・技能を習得する。				
授業計画				
回	内容			
1	歯科麻酔学概論、バイタルサインの重要性			
2	【演習】手動血圧測定法			
3	歯科麻酔法各論① 局所麻酔法			
4	歯科麻酔法各論② 全身麻酔・精神鎮静法			
5	臨床全身管理各論① （循環器疾患への対応）			
6	臨床全身管理各論② （呼吸器疾患・脳血管障害への対応）			
7	臨床全身管理各論③ （歯科治療時の全身的偶発症への対応）			
8	【演習】一次救命処置（Basic Life Support:BLS）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	80%	講義・演習で得た知識について、医療人として必要なレベルに達しているかを評価する。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点	20%	受講態度（取り組み、姿勢）などを評価する。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第2版	全国歯科衛生士教育協議会		医歯薬出版株式会社	
自由記載	講義ごとにレジュメ・講義資料を配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
歯科衛生士テキスト 歯科麻酔学・全身管理学	佐久間泰司 他編		学健書院	
改訂版 知りたいことがすぐわかる高齢者歯科医療	小谷順一郎 他編		永末書店	
自由記載				
備考				
高齢化が進む社会の中で歯科医療のニーズも大きく変化しています。内科的有病患者が歯科治療を受ける機会も格段に増えていきます。歯科衛生士としても全身管理に関する知識・態度・技能が求められます。歯科麻酔学講義・演習では、これらの基本となる項目をできるだけわかりやすく解説します。積極的な態度での受講を期待します。				